

子どもの未来を、 みんなで支えよう

家庭・学校・地域、そしてPTA。
これからの子どもの育ちと一緒に考えてみませんか？



家庭
生きる力



学校
学びの力



地域
つながる力



大人のつながり
支える力



第1章

いま、子どもの育ちを 考え直すとき

つながる
まなび
ひろがる みらい

子どもの笑顔が
未来をつくる

ともに考え
ともに育て
よりよい未来へ

学校教育はいま、転換期にあります

いま、学校教育も大きな転換期にあります。知識を覚えることに加え、考える力、対話する力、自分で学びを選び取る力が、これまで以上に大切にされようとしています。



学習指導要領って何？>

気になる方は、別資料でくわしく

1 社会が変わっている



AIやデジタル技術の進化、価値観の多様化など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わっています。

2 学び方も変わる



正解を覚えるだけでなく、問いを持ち、考え、対話し、学び続ける力が求められています。

3 求められる力も広がる



学力だけでなく、思いやりや粘り強さ、自分で考える力など、目に見えにくい力も大切です。

4 大人の関わり方も問われる



子どもの育ちは、学校だけで完結しません。家庭や地域、大人同士のつながりも、これまで以上に大切になります。

だからこそ、
まず大人が知ることから

子どもの育ちを支えるために、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を知り、共通理解を少しずつ育てていくことが、これからますます大切になります。



子どもの未来を、みんなで支えよう。

第2章

いま求められる力

育てたいのは
テストの点だけじゃない
生きる力

一人ひとりの
よさが輝く
これからの社会へ

どんな力も
子どもの未来を
ひらくために

見える力と、見えない力の両方が大切です

これからの子どもたちには、学力のように目に見える力だけでなく、
人と関わる力や、自分で考え、学び続ける力も大切になります。



非認知能力って何？

意欲・粘り強さ・思いやりなど、
生きる力の土台になる力です

1 見える力



成績・テスト・知識や技能など、
学校で学ぶ力はこれからも大切です。

2 見えない力「非認知能力」



意欲、粘り強さ、思いやり、自分を大切にする力、
ふり返る力など、目には見えにくいけれど、
生きる力の土台になるものです。

自分を
大切にする力



人と関わる力



やり抜く力



考える力



ふり返る力



なぜ大切？

正解を早く出すことだけでなく、問いを持ち、試し、対話し、
学び続けることが求められる時代だからです。

問い続ける力が
未来をつくる

力は、関わりの中で育つ

見えない力は、家庭・学校・地域での
さまざまな出会いや経験の中で、
少しずつ育っていきます。

家庭

あたたかな
よりそい

学校
学びの
支え

地域

みんなで
見守る



見える力も、見えない力も、どちらも子どもの大切な力。

第3章

子どもの育ちを支える 「三つのチカラ」

ともに育ち
ともに支え
ともに未来へ

つながる
まなびで
子どもは育つ

学校・家庭・地域がつながることで、子どもは大きく育ちます

子どもの育ちは、一つの場所だけで完結するものではありません。
家庭教育、学校教育、社会教育という三つのチカラが重なり合って支えています。

三つのチカラって？

それぞれの役割を知ること、
よりよい支え合いが生まれます。

1 家庭教育



あたたかい関わりや安心感を
通して、自己肯定感や生活の
土台を育てます。

2 学校教育



知識や考える力、友だちとの
関わり、ルールを守る心などを
育てます。

3 社会教育



地域の人との交流や体験活動を通
して、視野や社会性、人と
関わる力を広げます。

三つが繋がると...

学力だけでなく、心の土台や、
生きる力も、より豊かに
育っていきます。

どれか一つではなく、
重なりが大切

つながる
ひろがる
子どもの未来

家庭・学校・地域、それぞれの役割が子どもの未来を支えます。

第4章

社会教育って なんだろう？

つながる
まなび
ひろがる みらい

地域の中に
子どもの成長の
タネがある

ともに育ち
ともに学び
よりよい未来へ

学校の外にも、子どもが育つ学びがあります

社会教育とは、学校の授業の外で、人や地域、文化、体験を通して学ぶことです。地域との関わりの中には、教科書だけでは育たない力がたくさんあります。

 **社会教育ってどんな場？**

身近なところにも、学びの場がたくさん！

1 見守り・あいさつ



「おはよう」「気をつけてね」という声かけが、安心感や人を信頼する力につながります。

2 地域行事・文化



地域の行事や文化に触れることは、役割や挑戦、郷土への愛着を育てます。

3 体験活動



大人と一緒に体験し、試し、学ぶことが、好奇心や社会性を育てます。

4 多世代交流



世代の違う人と関わることで、思いやりや視野の広がりが生まれます。

**社会教育が
育てるもの**

安心感

自己有用感

社会性

郷土愛

挑戦する
気持ち

つながる ひと・まち・みらい
子どもの笑顔のために

みんなで
つくる
子どもの未来

地域の中の小さな関わりも、子どもの大切な学びです。

第5章

子どもを真ん中にする 大人もつながる

いろいろな人の
やさしさが
子どもを育てる

子どもがいるから
出会う
つながれる

つながる
ひろがる
子どもの未来

子どもの育ちを支えることは、大人同士を結び直すことでもあります

子どもという共通の願いがあるからこそ、立場や世代の違う大人たちも、ゆるやかにつながることができます。そのつながりは、子どもを支える力になります。



つながるって、どういうこと？

子どもをきっかけに、大人同士の
支え合いが生まれます

1 保護者と教職員



学校での姿と家庭での姿を持ち寄ることで、子どもへの理解が深まります。

2 保護者どうし



悩みや工夫を分かち合うことで、子育てを一人で抱え込まなくてよくなります。

3 保護者と地域



地域の人と顔がつながることで、安心感や見守りの輪が広がります。

4 世代をこえたつながり



子どもをきっかけに、ふだん出会わない人同士が出会い、学び合うことができます。

つながりが生み出すもの

大人同士のつながりは、子どもの安心と、多様な学びの土台になります。



みんなが
つながると
子どもの世界が
もっとひろがる!

子どもを支える。
そして、子どもを中心に
大人もつながる。

人とのつながりは、
子どもにも大人にも力になります。

ともに支え
ともに育つ
やさしい社会へ

第6章

PTAは、つながる 選択肢のひとつ

出会い
知りあい
支えあい

子どもを中心に
ひろがる輪

つながりが
子どもの未来を
豊かにする

PTAは、家庭・学校・地域をゆるやかにつなぐ接点です

PTAは、何かを押しつけるための組織ではなく、保護者と教職員が子どもの育ちを願って出会い、考え、つながるための一つの間です。地域との接点にもなり得ます。



PTAは“参加を求める組織”ではなく、“つながるきっかけ”として考えることができます。

1 保護者どうしがつながる



情報交換や声かけを通して、子育ての孤立をやわらげます。

2 学校のことを知る



子どもたちがどんな環境で学び、どんなことを大切にしているのかを知るきっかけになります。

3 地域と出会う



見守りや行事、地域活動を通して、学校の外にも支え手がいることに気づけます。

4 できる形で関わる



役割の大小ではなく、自分に合う関わり方を見つけることが大切です。

大切にしたいこと

できるときに、できる形で。
無理のない関わりが、あたたかな
つながりを育てます。



PTAを、子どもの育ちを支える“接点”として考えてみる。

第7章

学校との関係を 建設的なパートナーシップへ

つながる
まなび
ひろがる みらい

子どもの笑顔が
未来をつくる

ともに考え
ともに変え
よりよい未来へ

要求する／される関係ではなく、共に考え、支える関係へ

子どもの育ちを支えるためには、学校と保護者が対立するのではなく、それぞれの立場や限界を理解しながら、建設的に関わっていくことが大切です。



学校ってどんなところ？

知ることから、対話がはじまります

1 知る

大切にしていること

子どもたちの
様子

人や時間の
限界

まず、学校が何を大切にし、どんな課題を抱えているのかを知る。

2 聴く

家庭での
様子は…

学校では
こんなことが…

一方的に求める前に、互いの思いや背景を聴き合う。

3 支える

家庭で
できること

地域の
力

学校の
専門性

できることを持ち寄り、子どもの学びや安心を一緒に支える。

4 つくる

子どもに
とってよい環境

継続的な
連携

みんなで
つくる未来

共通理解を土台に、よりよい関係や環境を少しずつつくっていく。

パートナーシップとは

学校に任せきりにしないこと、そして学校だけに背負わせないこと。互いを責めるのではなく、子どもを主語にして考えることが出発点です。

学校には学校の役割があり、
家庭や地域にも役割があります。

子どもの
よりよい育ちのために
一緒に考えましょう

学校・家庭・地域で
つながる、支える

子どもを主語にすると、学校との関係も前向きに変わります。

第8章

子どもの未来を みんなで支えよう

つながる
まなび
ひろがる みらい

子どもの笑顔が
未来をつくる

ともに育ち
ともに支え
よりよい未来へ

つながりを選ぶことが、これからの安心につながります

これからの子どもたちには、学力だけでなく、人と関わる力、自分で考える力、支え合いながら生きる力がますます大切になります。そのために、学校・家庭・地域・PTAが、ゆるやかにつながっていることが力になります。



みんなで育てる未来

子どもたちの今とこれからのために、それぞれの立場からできることを。

家庭



安心できる土台をつくる

学校



学びと成長を支える

地域



経験とつながりを広げる

PTA



人と人をつなぐ接点になる

子どもたちの
未来のために

みんなで支えよう

大切にしたいこと

すべての人が同じ形で関わる必要はありません。けれど、必要なときに誰かとつながれること、それ自体が子どもにとっても大人にとっても安心になります。

できるときに、
できる形で。

子育ては一人ではありません。
私たちのつながりが、
子どもの可能性を広げていきます。



みんなの
やさしさが
子どもの未来を
つくっていく

子どもの笑顔のために、いま、できることから。